

～会長の時間～

【インターアクトクラブ】

インターアクトクラブとは

インターアクトクラブ (Interact Club、IAC) とは、奉仕と国際理解に貢献する青少年のための、ロータリークラブ (RC) 提唱の世界的団体で、高校に在学中の生徒、または年齢 12～18 歳までの青少年が入会できます。Interact という名は「国際的活動」International Action を意味します (2010 年 1 月の国際ロータリー理事会で、インターアクトの会員資格の最低年齢が 14 歳から 12 歳へ引き下げられることが決定しました)。

インターアクトクラブの誕生

1959-60 年度の国際ロータリー (RI) 会長・ハロルド・トーマスは、世界各地のロータリアンが共通して「ロータリーは青少年奉仕を開発する力を、十分に発揮していない」という気持ちを抱いていることに気づきました。

そうした中で、世界中の青少年が共に活動できるような組織をつくろう、という機運はますます高まり、トーマス RI 会長は 1960 年、5 人のロータリアンからなる委員会を発足させました。世界最初の IAC は、アメリカ・フロリダ州メルボルン RC の提唱により 10 月 28 日に結成、23 人でスタートしたメルボルン高校 IAC です。

日本最初のインターアクトクラブ

日本最初の IAC は、1963 年 6 月 27 日に結成された、宮城県の仙台育英学園高校 IAC です。提唱は、仙台東 RC (宮城県 現・第 2520 地区) 当時の第 352 地区 (東北 6 県を範囲とし、地区番号は 3 ケタでした)。100 人を超える人数で誕生しました。日本第 1 号のこの IAC は、当時、世界最多の会員数を擁していました。

メルボルン高校に初めての IAC ができて間もない 1963 年 1 月、当時の手島周太郎ガバナーは、仙台東 RC で、国際奉仕委員長の加藤昭氏 (1998-99 年度第 2810 地区ガバナー) に、RI 本部から届いた、英文の書類を手渡しました。加藤氏は、自分が校長を務める仙台育英学園高校の生徒に呼びかけたところ、予想以上の賛同を得て、日本で初めて、世界で一番大きい IAC が結成されることになったのです。



見学説明ありがとうございます！

